

健

康

質問

父が胆管がんと診断されました。どのような治療があるのか教えてください。

胆管がんの治療



山田 眞一郎

徳島大学病院
消化器・移植外科
特任助教

回答

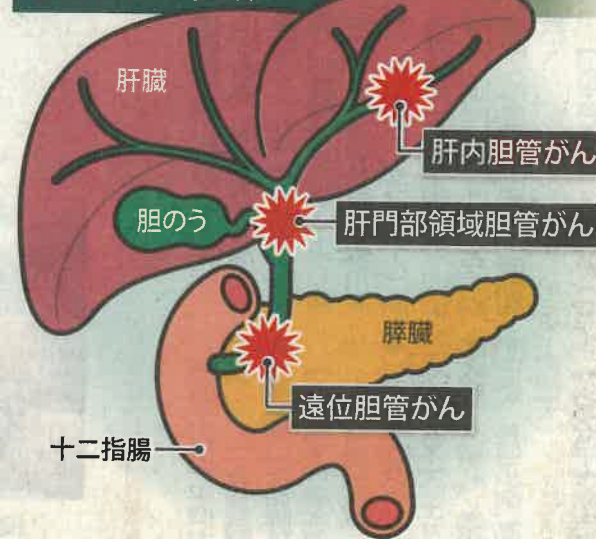
胆管とは肝臓で作られた胆汁の通り道で、肝臓の中の胆管（肝内胆管）と外の胆管（肝外胆管）があります。肝外胆管はさらに上部の胆管（肝門部領域胆管）と下部の胆管（遠位胆管）に分かれます。胆管がんは、発生部位で肝内胆管がんと肝門部領域胆管がん、遠位胆管がんの三つに分類されます。

治療方法は大きく手術と薬物療法があり、がんの進行度と体の状態を見て治療方針を決めます。手術が最も治癒が期待でき、がんの場所や広がりに応じた術式を選択します。

手術は基本的に肝内胆管がんの場合、肝臓の一部を切除します。肝門部領域胆管がんでは肝臓を半分ほどと、胆管を切除

発生部位で異なる手術

胆管がんの種類



薬物療法との併用も

して胆道を再建します。遠位胆管がんの場合は胆管と膵臓、十二指腸を切除して胆道を再建します。肝臓、膵臓や胆管の周囲は血管などの解剖が複雑になり、消化器がんの手術の中で最も高度な技術が必要です。手術ができない場合は

薬物療法を行います。現在、殺細胞性抗がん剤（ゲムシタビン、シスプラチン、S-1）の3剤を併用するGCS療法、ゲムシタビンとシスプラチンに免疫チェックポイント阻害剤のデュルバルマブ、ペムブロリズマブを併用する方法（GCD・GCP療法）が最初の選択肢になっています。胆管がんは薬物療法が



がん何でもクイズ

がん治療による外見の変化に伴う苦痛を軽減するためのケアのこと。治療でどのようなケアを受けるか。①アフターケア ②アピアランスケア ③スキンケア

行こうよ！がん検診

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442



（平日午前
8時半から
午後5時まで）へ。

効きにくいですが、免疫チェックポイント阻害剤を含め薬剤が進歩し、手術ができない胆管がんに対する奏効率（がんを小さくできる割合）が26・7～41・5%、1年生存率が52・0～59・4%といずれも以前より良くなっています。

免疫チェックポイント阻害剤は、がんを攻撃するリンパ球に対してがん細胞がかけているブレーキを解除し、リンパ球の力を十分に発揮させる画期的な薬で、胆管がんに対しては2023年から使用できるようになりました。薬物療法後の手術ができる可能性もあるもので、あきらめずに治療を行うことが重要です。

徳島大学病院消化器・移植外科では、県内唯一の肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Aに認定されており、胆管がんの手術、薬物療法ともに治療実績が豊富です。分からないことや不安があればいつでも相談してください。